

令和5年度（2023年度）の研修会などの主な活動

1 資料保全（製本）研修の実施

令和5年10月17日と10月18日に、都内区市町村立図書館と東京都図書館等連絡会加盟館の職員を対象に資料保全（製本）研修を行い、合わせて39名が受講しました。

この研修は、都立中央図書館が行っている修理や製本、そして資料保存に関する知識を東京都内の図書館と共有していこうと、平成15年度から行っています。人気のある研修会ですが、対応に限界があるため、参加者は各自治体・機関から原則として1名に絞り実施しています。当館職員が講師を務め、保存や修理に関する基本的な考え方を学び、ページの破れやノドの傷みなどの実習を通して正しい知識と基礎的技術の習得を目指しています。

これまでの研修会での主な質問と回答については、[保存・修理についてのQ&A](#)をご覧ください。

2 館内職員対象の研修の実施

当館職員を対象に、資料保存と製本・修理の基本基礎及び資料防災について学ぶことを目的とした「資料保全（製本）研修」を実施しました。

3 図書館ツアーの実施

図書館バックヤードツアーの一部として資料保全室の仕事を紹介したほか、資料保存に特化した「夏休み手作り和本体験ツアー」を令和5年8月15日に、「本の修復見学と和本づくりツアー」を令和6年3月5日に実施し、都民の皆様大変好評でした。

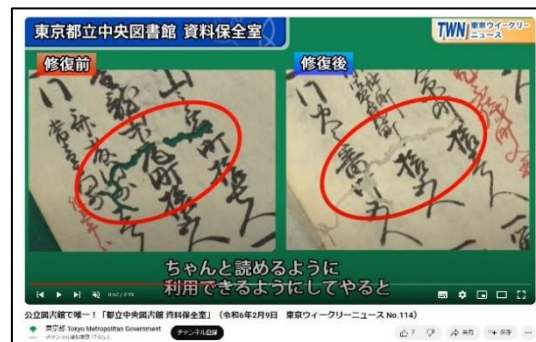
4 その他

令和6年1月23日に資料保存のページ内「水に濡れた資料の手当て」に[マニュアル動画](#)を追加しました。令和6年2月9日に「東京ウィークリーニュース」で[資料保全室の仕事を紹介する動画](#)が公開されました。

資料保全室の業務の見学や資料保存に関する問い合わせは41件ありました。



「水に濡れた資料の手当て」マニュアル動画



「東京ウィークリーニュース」資料保全室の紹介動画